

科目名 (科目番号)	解剖学 (人体構造学)Ⅱ (時間割参照)	教員名	本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	B316研究室	
授業概要	人体の構造について理解を深めるため、解剖学総論（細胞と細胞小器官、解剖学用語、臓器の位置関係、体控）では人体解剖学の基本的な知識を学び、その後に骨格系、筋系、神経系、感覚器、発生学についての学習をすすめます。							
目的・目標	目的：解剖学総論（細胞と細胞小器官、解剖学用語、臓器の位置関係、体控）の知識を修得し、その上で骨格系、筋系、神経系、感覚器、発生学を学習する。 目標：人体の正常解剖から様々な疾患で運動器や神経系の構造がどの様に変化するのかを理解し、以後に学習する画像解剖学等のための基礎知識の習得を目標とする。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	解剖学総論	到達目標:解剖学総論を理解する。 学習内容:解剖学総論(細胞と細胞小器官、解剖学用語、臓器の位置関係、体控)について学習する。					
	2	骨格系1	到達目標:骨格系総論と骨の連結について理解する。 学習内容:骨格、骨のかたち、骨の構造、骨の発生と成長、関節の構造と種類について学習する。					
	3	骨格系2	到達目標:頭部の骨、脊柱について理解する。 学習内容:脳頭蓋、顔面頭蓋、鼻腔と副鼻腔、脊柱の構造について学習する。					
	4	骨格系3	到達目標:胸郭、上肢・下肢の骨格について理解する。 学習内容:胸郭、上肢・下肢の骨格の構造について学習する。					
	5	筋系1	到達目標:筋系総論、頭部の筋について理解する。 学習内容:筋のかたち・構造・はたらき・神経支配、顔面の筋、咀嚼筋の構造と働きについて学習する。					
	6	筋系2	到達目標:頸部の筋、胸部の筋、背部の筋、腹部の筋について理解する。 学習内容:頸部の筋、胸部の筋、背部の筋、腹部の筋の構造と働きについて学習する。					
	7	筋系3	到達目標:上肢・下肢の筋について理解する。 学習内容:上肢・下肢の筋の構造と働きについて学習する。					
	8	中枢神経系(脳1)	到達目標:神経系総論、中枢神経系総論、延髄、橋、小脳、中脳、間脳について理解する。 学習内容:神経系の構成、神経細胞の新生・変性・再生、中枢神経系総論、延髄、橋、小脳、中脳、間脳の構造と働きについて学習する。					
	9	中枢神経系(脳2)	到達目標:大脳、脳の血管、脳室と脳脊髄膜について理解する。 学習内容:大脳、脳の血管、脳室と脳脊髄膜の構造と働きについて学習する。					
	10	末梢神経系(脳神経)	到達目標:末梢神経系総論、脳神経について理解する。 学習内容:末梢神経系総論、脳神経の構造と働きについて学習する。					
	11	中枢神経系(脊髄)、末梢神経系(脊髄神経)	到達目標:脊髄、脊髄神経について理解する。 学習内容:脊髄、脊髄神経の構造と働きについて学習する。					
	12	末梢神経系(自律神経)	到達目標:自律神経系について理解する。 学習内容:交感神経と副交感神経系、内分泌ホルモン系の働きについて学習する。					
	13	神経系伝導路	到達目標:神経系伝導路について理解する。 学習内容:反射路、求心性伝導路、遠心性伝導路、小脳系伝導路について学習する。					
	14	感覚器系	到達目標:感覚器系について理解する。 学習内容:視覚器、平衡聴覚器、皮膚について学習する。					
	15	発生学概論	到達目標:発生学概論について理解する。 学習内容:受精から出生までにおける発生学のあらましを学習する。					
成績評価の方法・基準	確認課題（20%）＋期末試験（80%）（対面、オンライン共通）							
教科書	入門人体解剖学 改訂第6版			藤田恒夫		南江堂		
参考図書	人体解剖学 改訂第42版			藤田恒太郎		南江堂		
教員からのメッセージ	自分が疑問に思うことは、他人も疑問に思うことが多いです。講義中の質問は非常に役立つので、疑問点があるときは、積極的に質問をしてください。 病院で勤務した診療放射線技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							